



平成26年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年5月2日
上場取引所 東

上場会社名 ダイトエレクトロン株式会社
 コード番号 7609 URL <http://www.daitron.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 前 績行
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員 管理本部長 (氏名) 福嶋 圭一 TEL (06) 6399-5041
 四半期報告書提出予定日 平成26年5月15日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第1四半期の連結業績（平成26年1月1日～平成26年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第1四半期	9,749	15.6	186	—	180	460.0	109	181.4
25年12月期第1四半期	8,433	△16.5	△9	—	32	△83.6	38	△66.8

(注) 包括利益 26年12月期第1四半期 36百万円 (△77.8%) 25年12月期第1四半期 162百万円 (△27.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第1四半期	9.85	—
25年12月期第1四半期	3.50	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年12月期第1四半期	25,322	11,611	45.8	1,045.30
25年12月期	23,766	11,630	48.9	1,047.04

(参考) 自己資本 26年12月期第1四半期 11,607百万円 25年12月期 11,627百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	0.00	—	5.00	5.00
26年12月期	—	—	—	—	—
26年12月期 (予想)	—	0.00	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年12月期の連結業績予想（平成26年1月1日～平成26年12月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	17,700	3.0	50	—	40	20.3	△90	—	△8.10
通期	36,300	4.0	430	210.1	410	62.3	60	—	5.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年12月期 1 Q	11,155,979株	25年12月期	11,155,979株
② 期末自己株式数	26年12月期 1 Q	51,184株	25年12月期	51,170株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年12月期 1 Q	11,104,797株	25年12月期 1 Q	11,125,961株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府及び日銀の経済・金融政策を背景に、昨年から引続き円安・株高の傾向が継続していることや、企業収益の改善や個人消費の持ち直しなど、景気回復の兆しが見られました。しかし一方では、円安による原材料価格の上昇や消費税増税を控えた経済の動向、新興国の経済成長の鈍化等、依然として先行き不透明な状況が続きました。

当社グループの属しておりますエレクトロニクス業界におきましても、上記のような経済環境の影響を受け、自動車関連、スマートフォンやタブレット端末及びその周辺機器関連の一部の市場では需要が回復基調にて推移しましたが、産業用機械・設備市場におきましては、依然として企業の設備投資需要の本格的な回復には至っておりません。

このような状況下ではありますが、当社グループの業績につきましては、企業の生産活動の活発化に伴い、売上高、利益共に前年同期の実績を大きく上回りました。

この結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は9,749百万円（前年同期比15.6%増）、営業利益は186百万円（前年同期は9百万円の損失）、経常利益は180百万円（前年同期比460.0%増）、四半期純利益は109百万円（前年同期比181.4%増）となりました。

セグメント別の概況は以下のとおりであります。

電子機器及び部品

当セグメントにつきましては、企業の生産活動の活発化に伴い、「電子部品&アセンブリ商品」のコネクタやハーネス、「情報システム」の非接触ICカードシステムが堅調に推移したことに加え、「情報システム」のビデオ会議システムが設備の更新需要等により堅調に推移し、当セグメントの業績を牽引しました。

この結果、当セグメントの売上高は6,380百万円（前年同期比21.6%増）、セグメント利益（営業利益）は100百万円（同15.9%増）となりました。

製造装置

当セグメントにつきましては、スマートフォンやタブレット端末及びその周辺機器関連の一部の市場で需要が回復傾向にあることから、「フラットパネルディスプレイ製造装置」の液晶パネル製造装置や「光デバイス製造装置」のLED製造装置等が堅調に推移したものの、企業の設備投資の回復の遅れに伴い、「電子材料製造装置」のシリコンウェーハ製造装置や「LSI製造装置」は厳しい状況にて推移しました。

この結果、当セグメントの売上高は1,855百万円（前年同期比14.8%増）、セグメント損失（営業損失）は100百万円（前年同期は35百万円の損失）となりました。

国内子会社

当セグメントにつきましては、売上高では製造装置事業を行っておりますダイトロンテクノロジー株式会社においては、企業の設備投資の抑制傾向が続いていることから、厳しい状況にて推移しました。また、電子機器及び部品事業を行っておりますダイトデンソー株式会社は、企業の生産活動の回復傾向に伴い、堅調に推移しました。しかしながら、利益につきましては、製造原価の見直しやコスト削減等により、前年同期の実績を大きく上回りました。

この結果、当セグメントの売上高は543百万円（前年同期比3.0%減）、セグメント利益（営業利益）は64百万円（前年同期は62百万円の損失）となりました。

海外子会社

当セグメントにつきましては、米国、韓国、東南アジアでは堅調に推移しましたが、中国における電子機器及び部品の販売減少の影響を受け、売上高はほぼ横ばいにて推移しました。しかしながら、利益につきましては、収益性の高い商品の販売比率が上昇したことにより、前年同期の実績を上回りました。

この結果、当セグメントの売上高は969百万円（前年同期比4.0%減）、セグメント利益（営業利益）は25百万円（同153.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は20,169百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,678百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が926百万円、受取手形及び売掛金が468百万円増加したことによるものであります。固定資産は5,153百万円となり、前連結会計年度末に比べ121百万円減少いたしました。これは有形固定資産が26百万円、無形固定資産が29百万円、投資その他の資産が65百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は25,322百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,556百万円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は11,679百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,565百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が1,223百万円、短期借入金が520百万円増加したことによるものであります。固定負債は2,031百万円となり、前連結会計年度末に比べ10百万円増加いたしました。

この結果、負債合計は13,711百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,576百万円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は11,611百万円となり、前連結会計年度末に比べ19百万円減少いたしました。これは主に利益剰余金が53百万円増加し、その他有価証券評価差額金が41百万円、為替換算調整勘定が28百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は45.8%となり、前連結会計年度末との比較で3.1ポイント低下いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成26年2月6日に公表いたしました「平成25年12月期決算短信」に記載の内容から変更はございません。なお、業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後、様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。今後、業績予想に関して修正の可能性が生じた場合には、速やかに開示する予定であります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,611,441	6,537,936
受取手形及び売掛金	9,009,210	9,477,225
電子記録債権	945,276	859,386
商品及び製品	1,366,500	1,602,881
仕掛品	743,521	900,643
原材料	222,179	322,405
その他	594,358	470,601
貸倒引当金	△904	△1,315
流動資産合計	18,491,584	20,169,764
固定資産		
有形固定資産	3,332,978	3,306,623
無形固定資産	146,578	116,860
投資その他の資産		
その他	1,831,125	1,765,616
貸倒引当金	△36,163	△36,085
投資その他の資産合計	1,794,961	1,729,530
固定資産合計	5,274,518	5,153,014
資産合計	23,766,103	25,322,779
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,642,959	8,866,135
短期借入金	100,000	620,000
1年内返済予定の長期借入金	1,039,970	959,300
未払法人税等	97,284	153,724
賞与引当金	49,666	313,237
その他の引当金	38,431	38,825
その他	1,145,460	728,546
流動負債合計	10,113,772	11,679,770
固定負債		
退職給付引当金	1,758,353	1,789,130
資産除去債務	46,862	47,039
その他	216,557	195,676
固定負債合計	2,021,773	2,031,846
負債合計	12,135,546	13,711,616
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,200,708	2,200,708
資本剰余金	2,482,896	2,482,896
利益剰余金	6,691,248	6,745,161
自己株式	△19,329	△19,335
株主資本合計	11,355,523	11,409,430
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	330,905	289,457
繰延ヘッジ損益	118	△3,040
為替換算調整勘定	△59,357	△88,050
その他の包括利益累計額合計	271,667	198,365
少数株主持分	3,366	3,366
純資産合計	11,630,556	11,611,162
負債純資産合計	23,766,103	25,322,779

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)
売上高	8,433,056	9,749,101
売上原価	6,646,918	7,717,644
売上総利益	1,786,138	2,031,456
販売費及び一般管理費	1,795,579	1,845,367
営業利益又は営業損失(△)	△9,441	186,089
営業外収益		
受取利息	2,790	2,256
受取配当金	704	806
保険配当金	10,806	11,095
為替差益	26,064	—
雑収入	17,787	12,101
営業外収益合計	58,154	26,261
営業外費用		
支払利息	10,112	8,770
手形売却損	1,514	1,645
為替差損	—	17,381
雑損失	4,819	3,858
営業外費用合計	16,446	31,656
経常利益	32,266	180,693
特別利益		
固定資産売却益	98	17,510
投資有価証券売却益	421	—
特別利益合計	520	17,510
特別損失		
固定資産除売却損	283	109
特別損失合計	283	109
税金等調整前四半期純利益	32,502	198,093
法人税、住民税及び事業税	65,766	163,890
法人税等調整額	△72,152	△75,233
法人税等合計	△6,385	88,656
少数株主損益調整前四半期純利益	38,888	109,436
四半期純利益	38,888	109,436

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	38,888	109,436
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	118,778	△41,448
繰延ヘッジ損益	△6,380	△3,159
為替換算調整勘定	11,693	△28,693
その他の包括利益合計	124,092	△73,301
四半期包括利益	162,980	36,135
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	162,980	36,135
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	電子機器 及び部品	製造装置	国内子会社	海外子会社	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	5,246,235	1,616,619	560,447	1,009,754	8,433,056	—	8,433,056
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	197,839	58,987	964,972	12,779	1,234,579	△1,234,579	—
計	5,444,075	1,675,606	1,525,419	1,022,534	9,667,635	△1,234,579	8,433,056
セグメント利益 又は損失(△)	86,467	△35,294	△62,830	10,184	△1,473	△7,967	△9,441

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△7,967千円には、セグメント間取引消去25,623千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△33,591千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益又は営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	電子機器 及び部品	製造装置	国内子会社	海外子会社	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	6,380,467	1,855,219	543,902	969,511	9,749,101	—	9,749,101
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	237,536	42,692	948,044	44,977	1,273,250	△1,273,250	—
計	6,618,003	1,897,911	1,491,946	1,014,489	11,022,351	△1,273,250	9,749,101
セグメント利益 又は損失(△)	100,188	△10,919	64,694	25,809	179,772	6,316	186,089

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額6,316千円には、セグメント間取引消去14,828千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△8,511千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益又は営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。